

筆の里工房 9月の休館日
 9月3日・10日・17日・25日

「三度の飯より上野隆紘」
 RCCラジオでおなじみの三飯を工房から生中継いたします。
 9月24日(土)
 午前9時～午前11時

体験コーナー
 筆・墨・硯・紙の産地の伝統工芸士が優しく指導してくれます。

オープニングセレモニー
 9月23日祝
 午前8時45分

古来から書齋において大切にされた、文房四宝「筆(熊野町)・墨(三重県鈴鹿市)・硯(宮城県雄勝町)・紙(鳥取県佐治村)」の産地が伝統的工芸品を広く紹介し、理解と認識を高めるために一堂に会し、産業の振興を図ります。

伝統的工芸品フェア

文房四宝展



筆の里工房には県内を中心として170校年間約1万2千人の小学校5年生が伝統的工芸品の学習のために社会見学に来ます。
 筆の里工房では教科書に出てくる広島近郊の伝統工芸を展示紹介します。
 期間
 9月26日(土)～11月8日(木)
 入館料 大人300円
 小中高生150円

販売コーナー
 文房四宝の販売を行います。
 9月23日祝・24日(土)
 午前9時半～午後5時



椎名 誠氏 (作家)
 演題「今夜は乾杯」



津本 陽氏 (作家)
 演題「日本人の活力」

作家の津本陽氏と、椎名誠氏による講演会を開催します。この講演会は、入場整理券が必要です。ふるってご応募ください。

筆の都「教育の町熊野」宣言3周年・新庁舎竣工記念

文藝春秋講演会

入場整理券の申込み方法

「往復はがき」に住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、お申し込みください。
 お申し込み多数の場合は抽選とし、当選発表は、返信用はがきの発送をもって代えさせていただきます。
 お一人様1枚の申込みとさせていただきます。ふるってお申し込みください。

返信用はがきにも住所・氏名をお忘れなく。
 締切日 10月1日(土) (消印有効)
 申込・問合せ先
 〒731-4292
 熊野町3815-1
 熊野町教育委員会
 「文藝春秋講演会」係
 (学校教育課 820-5620)

とき 10月20日(土)
 開場 午後1時半
 開演 午後2時
 ところ 町民会館 講堂
 主催 熊野町・株式会社文藝春秋
 共催 熊野町教育委員会
 後援 熊野町商工会・熊野町婦人会・熊野町PTA連絡協議会
 協賛 熊野筆事業協同組合

入場料 無料
 入場整理券が必要です。

この地に(薊)

地元、熊野高校を通じて、地域と学校について考えていきます。



江田島勉強合宿、 Aクラスを更に強化

熊野高校は、8月2日(木)から6日(金)にかけて、江田島青年の家において「江田島勉強合宿」を行った。今年度は1年生も対象者とし、特にAクラスを強化、早い時期からの勉強の基本(集中力、忍耐力、

筆都の育てる
筆都の育てる

熊野高等学校

独習と勉強方法)をしっかりと身につけさせ、高い進路実現を目指します。



合宿内容は、1日10時間勉強、生徒各自が自分の計画を設定し実行します。そして生徒の疑問、質問に対して各教科専門の教師14名が交代で個別指導を行い、丁寧な説明で答えるシステムをとっています。



参加した生徒は、「勉強合宿に参加してよかった」とも集中して勉強に取り組めた。「初めて合宿に参加、先生方が丁寧に教えてくれるのでとても助かった。」「勉強するよい機会だったので、来年もこの勉強合宿があるなら是非参加しようと思った。」ととても嬉しそうでした。
そして、「一日10時間勉強なんてできないと思っていたが、みんなが必死だったから頑張ることができた。」と一年生の参加者が疲れながらも、熱く語ってくれました。

くまの俳壇

熊野俳句同好会

【熊野婦人俳句会】

箸立に父母の箸ある涼しさよ
手づくりのパンと山百合届けらる
あれこれと火を通す食梅雨じめり
食さそふ一皿づつの夏料理
ひっそりと庭に半夏の白い花
朝顔に語りかけつゝ水を打つ
囀に送られて発つ無人駅
暮一部始終を見てをりぬ
学童の墨と汗とで滲む作
梅熟るる童女の如く紅さして
【西公民館俳句グループ】
廃屋の玻璃破れをり螢飛ぶ
万緑や墨黒々と売家札
土間の奥より声のする五月闇
友の亡き家に紫陽花咲きのこり
母許へ一日帰りの日永かな
蚊遣香腰に吊して庭師来る
泰山木花の白きや空仰ぐ
今年竹折られしままに伸びており
田の隅に残りし苗の育ちをり
石垣を鎧へる部落梅雨に入る

工藤 義夫
立花 よしえ
亀谷 しず恵
久保田 フクヨ
山崎 貞子
上野 啓子
大田 文子
阪本 清子
堀野 眞理子
隠土 信子
西村 柳子
別府 藤絵
渡辺 文
高橋 喜美子
長山 法江
尺田 せつ
関村 光子
南村 マサ子
進藤 津美
木村 里風子